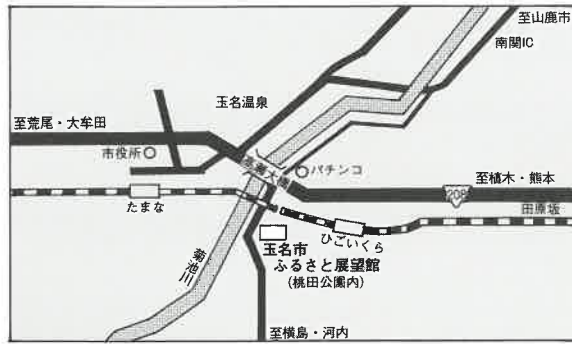


玉名市ふるさと展望館

設計者 高崎正治
所在地 玉名市大倉字桃田1144

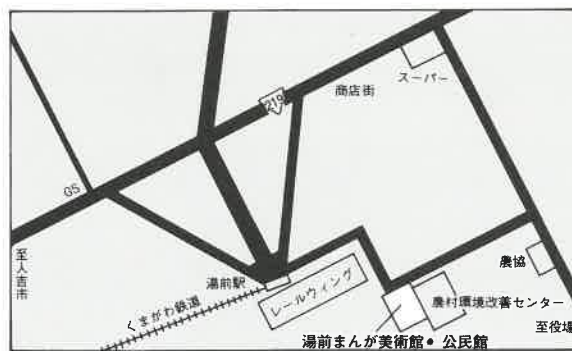
- 交通
産交バス(荒尾・四山行、玉名行)大倉経由→大橋口
下車→徒歩700m
¥740/約50分
- 見学の注意
現在工事中(秋頃外構も完成予定)につき、見学は囲いの外側からのみに限られます。工事の妨げにならないように十分ご注意ください。
- 問合せ 玉名市秘書企画課 電話0968-75-1213
- みどころ
玉名市全体が一望できるタワーでスポーツ公園の核となる施設。建物は曲線や斜線が多用され複雑な形態をしている。
- 建築データ
主要用途 展望館
事業主体 玉名市
施工 建築/岩下建設
面積 敷地777m²、建築171m²、延床99m²
構造規模 鉄筋コンクリート造+一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階
主な仕上げ 鉄筋コンクリート打放し
工事期間 1991年12月~1992年10月



湯前まんが美術館・公民館

設計者 桂美昭
所在地 球磨郡湯前町字上牧原1834-1

- 交通
JR肥後線熊本駅発→人吉駅下車→くまがわ鉄道湯前駅下車→徒歩200m
¥2,310+¥640/約100分+約50分
- 見学の注意
公民館のみ開館(まんが美術館は11月開館予定)
問合せ 湯前町公民館 電話 0966-43-2050
- 見どころ
湯前出身の政治漫画家、故須良輔氏を記念して作られた美術館と公民館の複合施設。
5棟の建物は湯前線の終着駅に隣接した敷地に、市房山を臨むように建てられている。
地元で産出される大断面の杉材を用い、主要な空間は片持ち梁で支えられることによってダイナミックな内部を作り出した。
- 建築データ
主要用途 美術館・公民館
事業主体 湯前町
構造設計 村橋久昭
設備設計 レオ建築設備設計事務所
施工 建築/今村・桑原建設JV
面積 敷地9,023m²、建築840m²、延床858m²
構造規模 木造 地上2階
主な仕上げ 亜鉛アルミメッキ鋼板張
工事期間 1991年8月~1992年10月



くまもとアートポリスニュース

●くまもとアートポリス建築ウォッチングのためのガイド特集

09

●本ガイド中特記なき交通は、すべて熊本市「交通センター」発です。
●所要時間には徒歩時間を含んでいません。
◎東京からのくまもとアートポリス・アクセスは
東京→熊本 全日空/日本エアシステム/日本航空
¥49,320 (往復料金) / 約90分
産交バス(空港リムジンバス) 熊本空港発→熊本交通センター
¥670/約60分

- Hotakubo Daiichi Housing
- Kumamoto Municipal Shinchi Housing
- Saishukan Ladies' Residence
- Kumamoto North Police Station
- Hanabata Park Public Lavatories
- Ezuko Park Public Lavatories
- Misumi Harbour Ferry Terminal
- Ishiuchi Dam Maintenance Facility
- Yatsushiro Municipal Museum
- Yu-no-ka Bridge
- Kuma High School of Industry Traditional Architecture Workshop
- Kakuto Tunnel Ventilation Facility

Ariake/Kamoto District

- Tamana City Observatory Museum
- Tamana Regional Community Centre
- Prefectural Tumulus Museum
- Townscape Renovation in Yamaga City

Central Kumamoto District

- Kumamoto Municipal Takuma Housing
- Obiyama A Public Housing
- Shintoroku Public Housing
- Ryujabira Public Housing
- Kumamoto Prefectural Museum of Art Annex
- Park Furniture Prototypes
- Taiko Bridge
- Landscape Improvements of Prefectural Bridges
- Shirakawa Bridge Landscaping
- Park Bldg. II Ventilation Tower
- Ozu Government Office Annex
- Ayu-no-se Bridge
- Seiwa Bunraku Theater Museum

Aso District

- Souchi Stockbreeding Laboratory Cowshed
- Mt. Aso Public Lavatories
- Ubuyama Community Centre (Hana-no-koryu-kan)

Minamata/Ashikita District

- Tsunagi Local Product Centre

Hitoyoshi/Kuma District

- Yu-no-mae Comic Book Museum

Amakusa District

- Chapel Bell Hilltop Park
- Ushibuka Bridge
- Matsushima Sewer Plant Control Facility

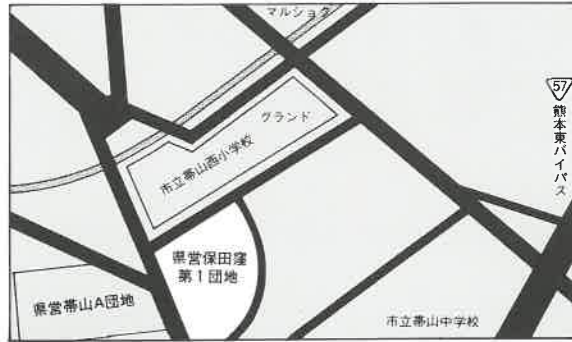
K.A.P

●発行くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課内 熊本市水前寺6-18-1
tel. 096-383-1111 (内線6220/6221)
fax. 096-384-9820
●編集くまもとアートポリスコミッション事務局
東京都渋谷区渋谷2-4-7 YK青山ビル
建築・都市ワークショップ内
tel. 03-3407-4753 fax. 03-3407-8753

県営住宅 保田窪第一団地

設計者 山本理顕
所在地 熊本市帯山1-28

- 交通
市営バス（長峰団地小峰営業所行）→上保田窪下車
¥210/約25分
- 見学の注意
見学は外観のみに限定。部外者は中庭には入れません。
写真撮影は団地居住者の迷惑にならないようにご注意ください。
問合せ 熊本県住宅課 電話096-383-1111(内)6247
- 見どころ
外部空間を居住スペースに取り込んだ各戸の平面構成と団地全体が共有する中庭。画一的になりがちな公営住宅の生活に変化を与え、コミュニティのための共有スペースを最大限にとった。
道路側からは各戸へのアプローチ階段の連なりが見える。コンクリートとブロックによる限定された素材に対して階段上部にあるポルト状の小屋根がアクセントを付けている。
- 建築データ
主要用途 共同住宅
事業主体 熊本県
構造設計 今井構造事務所
設備設計 団設備設計事務所
施工 建築/和久田建設、高橋建設、三津野建設、安田建設（集会所）
面積 敷地11,184m²、建築3,562m²、延床8,753m²
構造規模 鉄筋コンクリート 地上5階
主な仕上げ コンクリート打放し
工事期間 1989年3月～1991年8月



2

県営住宅帯山A団地

設計者 新納空門
所在地 熊本市帯山1-23

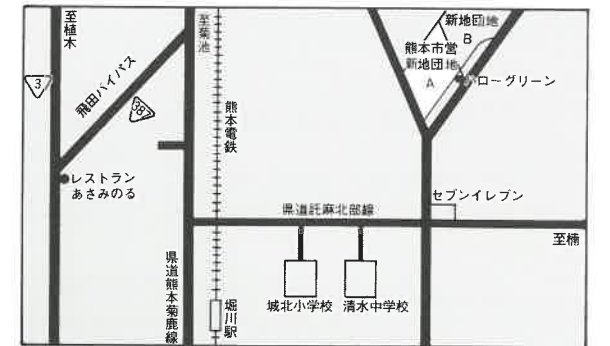
- 交通
市営バス（長峰団地小峰営業所行）→上保田窪下車
¥210/約25分
- 見学の注意
見学は外観のみに限定。
写真撮影は団地居住者の迷惑にならないようにご注意ください。
問合せ 熊本県住宅課 電話096-383-1111(内)6247
- 見どころ
設計者は公開のコンペティションによって選定された。道路を挟んで隣接する県営保田窪第一団地と対をなすようなデザイン。各戸へは立体的な空中歩廊を辿ってアプローチする。団地中央に設けられた広場は都市公園のように開放的である。
- 建築データ
主要用途 集合住宅
事業主体 熊本県
構造設計 坂本英建築構造事務所
設備設計 本田設備設計事務所
施工 建築/中島組、木村建設
面積 敷地3,935m²、建築1,321m²、延床3,840m²
構造規模 鉄筋コンクリート造+一部鉄骨造 地上5階
主な仕上げ コンクリート打放し+ガルバリウム鋼板波板張
工事期間 1991年3月～1992年2月



熊本市営新地団地A

設計者 早川邦彦
所在地 熊本市清水町新地1917

- 交通
電鉄バス（新地団地行）→新地団地（終点）下車
¥330/約40分
- 見学の注意
見学は外観のみに限定。
写真撮影は団地居住者の迷惑にならないようにご注意ください。
問合せ 熊本市住宅建設課 電話096-328-2466
- 見どころ
大規模な団地でありながら単調にならないように外部空間、住棟の形に工夫がなされている。大きな外部空間と居住スペースに取り囲まれた小さな中庭と変化があり、地形にそって続く。
集会所前には小さなプールが作られ、居住者の憩いの場となっている。
- 建築データ
主要用途 共同住宅
事業主体 熊本市
構造設計 松井源吾+ORS事務所
設備設計 郷設計研究所
施工 建築/増永組・水上建設・川上建設・小田建設・パチオ・ワクタ工業JV、九峰建設（集会所）
面積 敷地28,110m²、建築7,134m²、延床23,047m²
構造規模 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上5階
主な仕上げ リシン吹付け
工事期間 1989年12月～1991年5月



撮影 石丸捷一



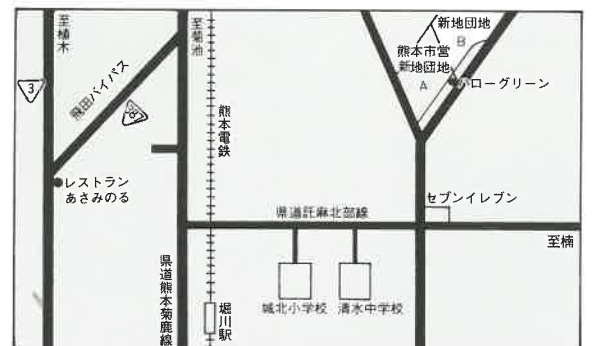
.....

3

熊本市営新地団地B

設計者 緒方理一郎
所在地 熊本市清水町新地1917

- 交通
電鉄バス（新地団地行）→新地団地（終点）下車
¥330/約40分
- 見学の注意
見学は外観のみに限定。
写真撮影は団地居住者の迷惑にならないようにご注意ください。
問合せ 熊本市住宅建設課 電話096-328-2466
- 見どころ
対をなす長い住棟とそれによって挟まれたモール（通路のような外部空間）が特徴。外部空間はステージに見立てられ、さまざまな使われ方が可能となる。
また各住戸へのアプローチとなる螺旋階段は幅が広くとられ、モールにつながる雰囲気づくりがされている。
- 建築データ
主要用途 集合住宅
事業主体 熊本市
構造設計 坂本英建築構造事務所
設備設計 トーア建築設備設計事務所
施工 建築/多々良工務店・富重建設・大平建設JV、三ツ矢建設・近田建設・作村技建工業JV
面積 敷地17,196m²、建築3,802m²、延床16,179m²
構造規模 鉄筋コンクリート造 地上5階
主な仕上げ リシン吹付け
工事期間 1991年3月～1992年2月



09

熊本市営託麻団地

設計者 坂本一成+長谷川逸子+松永安光
所在地 熊本市新南部町33

- 交通
産交バス（阿蘇・大津方面行）バイパス経由→下南部入口下車
¥330/約40分
- 見学の注意
見学は外観のみに限定。
写真撮影は団地居住者の迷惑にならないようご注意ください。
問合せ 熊本市住宅建設課 電話096-328-2466
- 見どころ

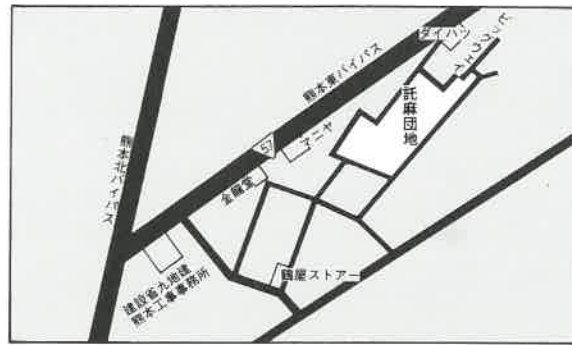
3人の建築家がそれぞれ個性を持ちながら、変化溢れる住環境を作りだしている。すなわち居住者が窓の外に見る景色は自分の棟とは異なったデザインの棟となる。建設は3期にわたっているが、各期とも3人の建築家がそれぞれの棟を担当設計している。坂本氏担当による住棟は通路が棟の中央を貫き、ピロティ部には自転車置き場などが設けられている。各住戸はボイドスラブ構造を採用したことによって、内部に柱・梁型がないため、開口部が大きく取れ、間仕切り壁も自由に付けられる可能性を持つ。長谷川氏担当による住棟は各棟のジョイント部分に各住戸への階段を配置し、連結され光や風の通るスリットとされた。

また松永氏担当棟も平面配置、バルコニーの形などに変化が付けられ、居住者の採光やプライバシーを確保しながら、建築の構成が単調にならないよう心掛けられている。

- 建築データ（第1期）
- 主要用途 共同住宅
- 事業主体 熊本市
- 設備設計 郷設計研究所
- 面積 敷地 14,960m²
- 工事期間 1989年12月～1991年5月

- ◎坂本一成担当棟
- 構造設計 団設計同人
- 施工 建築/光進建設・藤建設JV
- 面積 建築 966m²、延床 3,479m²
- 構造規模 鉄筋コンクリート（ボイドラーメン）構造 地上4階

- 主な仕上げ コンクリート打放し、一部リシン吹付け
- ◎長谷川逸子担当棟
- 構造設計 梅沢建築構造研究所
- 施工 建築/光進建設・藤建設JV
- 面積 建築 1,000m²、延床 3,479m²
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上4階
- 主な仕上げ アクリルリシン吹付け、アクリルエナメル
- ◎松永安光担当棟
- 構造設計 松本構造設計室
- 施工 建築/サンエー建設・杉山建設JV
- 面積 建築 1,301m²、延床 5,126m²
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上5階
- 主な仕上げ アクリルリシン吹付け



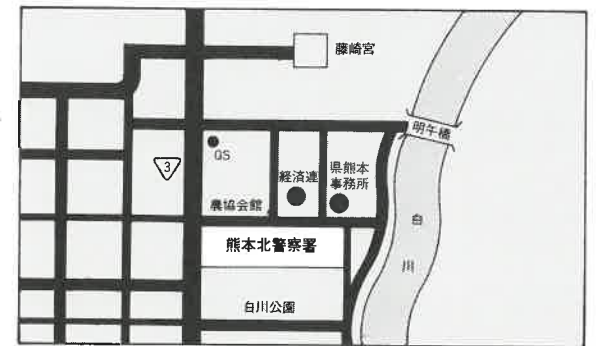
熊本北警察署

設計者 篠原一男+太宏設計事務所
所在地 熊本市草葉町5-13

- 交通
市営バス（楠団地行）→白川公園前下車
¥120/約8分
- 見学の注意
内部見学、撮影は受付に申込み、許可を得ること。団体見学は事前の見学者名簿提出と見学許可が必要。
問合せ 熊本北警察署警務課 電話096-355-4141
- 見どころ

国道3号線に準ずるガラス張りのファサード（正面）。上に行くに従って張り出してくる形は珍しい構造である。上部には道場などが収められている。また建物北側には設備機械類を収めた黒い筒が吊り下げられ、アクセントとなっている。またエントランスホールや執務空間も従来の警察署にない明るい雰囲気を実現されている。北側の通り沿いには小さなせらぎが設けられ、周囲の環境づくりに大きく寄与している。

- 建築データ
- 主要用途 警察署
- 事業主体 熊本県
- 構造設計 東京工業大学和田章研究室
- 設備設計 環境エンジニアリング
- 施工 建築/竹中工務店・増永組・三津野建設JV
- 面積 敷地 6,926m²、建築 2,230m²、延床 8,695m²
- 構造規模 鉄骨造+鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階/地上5階
- 主な仕上げ アルミパネル張り
- 工事期間 1989年3月～1990年11月



撮影 石丸捷一



4

5

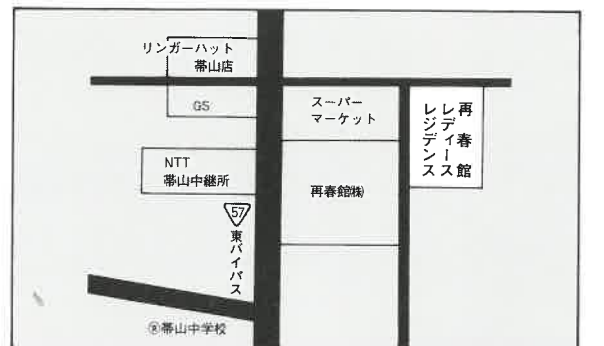
再春館 レディース・レジデンス

設計者 妹島和世
所在地 熊本市帯山4丁目323-1

- 交通
産交バス（武蔵ヶ丘行）県庁経由→保田窪本町下車
¥240/約25分
- 見学の注意
見学は公道からのみに限定される。内部の見学は事前の確認、許可が必要。また付近の駐車場を無断使用しないこと。
- 問合せ 再春館製薬所総務課 電話096-384-5555
- 見どころ

外部はアルミパネルが張られ、表情が抑えられているが、内部は大きなリビングルームに外光がふんだんに取り入れられコントラストが感じられる。各個室は小さく、反面、共用の居住スペースは大きくとられた建築プログラムも新鮮。

- 建築データ
- 主要用途 社員寮
- 事業主体 再春館製薬所
- 構造設計 松井源吾+ORS事務所
- 設備設計 システムデザイン研究所/島田設備設計
- 施工 建築/岩永組
- 面積 敷地 1,223m²、建築 851m²、延床 1,254m²
- 構造規模 鉄筋コンクリート造+鉄骨造 地上2階
- 主な仕上げ アルミ板張
- 工事期間 1990年11月～1991年7月



撮影 宮井政次

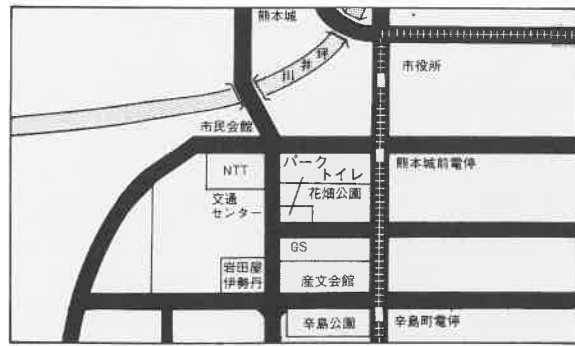


09

熊本市花畑パーク トイレ

設計者 大塚豊一
所在地 熊本県熊本市花畑町6

- 交通
徒歩→交通センター前花畑公園内
- 見学の注意
利用者の迷惑にならないように見学すること。撮影など節度をもって。
- 問合せ 熊本市建築課 電話096-328-2452
- 見どころ
都市公園の一部をなす公衆トイレ。歩道、公園の双方からアプローチすることができ、中央には水のみ場や公衆電話が設けられ都市機能を備えている。見学時にはぜひトイレのご利用を。
- 建築データ
主要用途 公衆便所
事業主体 熊本市
構造設計 裕建築事務所
設備設計 本田設備設計事務所
施工 建築/大見建設
面積 敷地2,619m²、建築51m²、延床43m²
構造規模 鉄筋コンクリート造 地上1階
主な仕上げ 無釉磁器質タイル貼り
工事期間 1989年5月～1989年10月



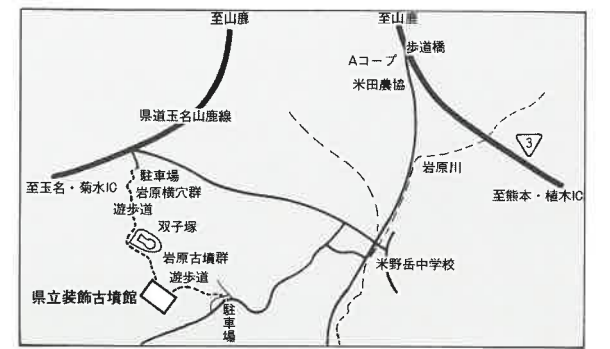
撮影 清島靖彦



県立装飾古墳館

設計者 安藤忠雄
所在地 鹿本郡鹿央町岩原3,085

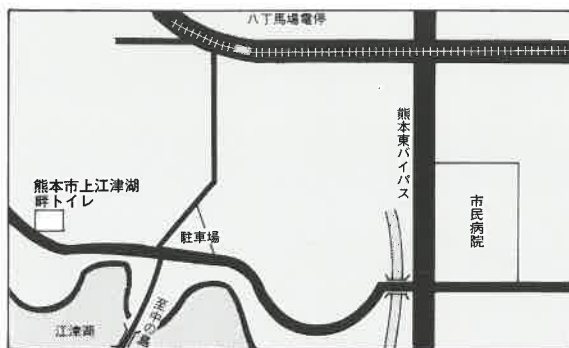
- 交通
産交バス（山鹿行）→新道経由→米田農協前下車→徒歩2km
¥740/約60分
- 見学の注意
入場料 400円（一般）
開館時間 9:30~17:00（入館は16:30まで）
休館日 月曜日（当日が祝日の場合は翌日）
問合せ 県立装飾古墳館 電話(0968)36-2151
- 見どころ
日本の装飾古墳の40%184基は熊本県内にある。そして山鹿市周辺、菊池川流域一帯は全国一の装飾古墳密集地帯。その中心部にあたり、完璧な前方後円墳を現代に伝える双子塚古墳の丘にこの古墳館はある。
丘の下にある駐車場からアプローチし、杉林の中をゆっくりと散策して行くと、やがて目の前に巨大な石像とコンクリート壁が現われ、屋上へと導かれる。コンクリートの素材と大胆な建築空間の構成がこの建築の特徴。すばらしい眺望の中での古墳の丘を満喫した後、装飾古墳の展示見学に至る。
屋外展示場にした喫茶室でヤコブセンの椅子に腰掛けくつろぐのも一興では？
- 建築データ
主要用途 資料館
事業主体 熊本県
構造設計 アスコララ構造研究所
設備設計 設備技研
施工 建築/西松建設・本山建設JV
面積 敷地6338m²、建築1448m²、延床2098m²
構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階/地上1階
主な仕上げ コンクリート打直し
工事期間 1990年10月～1992年3月



熊本市上江津湖畔 トイレ

設計者 日田兆
所在地 熊本市神水本町1-6

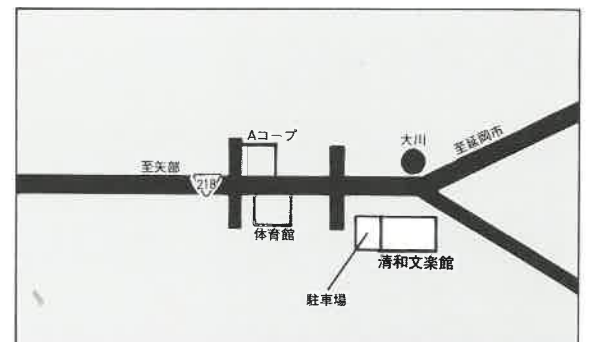
- 交通
市電（健軍行）→八丁馬場下車→徒歩400m
¥140/約20分
- 見学の注意
利用者の迷惑にならないよう見学すること。撮影など節度をもって。また近くに駐車場はあるが道が狭いので要注意。
- 問合せ 熊本市建築課 電話096-328-2452
- 見どころ
公園内において、風景のアクセントとなるような形態を持っている。江津湖水位上昇時に備えて男女トイレは一段高く設けられているが、エントランスからは公園の眺望が望める。
湧き水のふんだんな湖の周囲の散策もあわせてどうぞ。
- 建築データ
主要用途 公衆便所
事業主体 熊本市
構造設計 田中建築構造事務所
設備設計 有吉建築設備設計事務所
施工 建築/吉城建設
面積 敷地435m²、建築46m²、延床46m²
構造規模 鉄筋コンクリート造 地上1階
主な仕上げ せり器質タイル貼り
工事期間 1989年1月～1989年5月



清和文楽館

設計者 石井和紘
所在地 上益城郡清和村大字大平原口152

- 交通
熊本バス（馬見原行）→大川下車→徒歩800m
¥1350/約100分
- 見学の注意
入場料 400円（通常日/常設資料展見学）
1200円（第2・4日曜日/文楽定期公演鑑賞）
開館時間 9:00~17:00（入館は16:30まで）
文楽公演は前もって問合せのこと。
問合せ 清和文楽館 電話0967-82-3001
- 見どころ
村に江戸時代より伝承された文楽を伝え、公演するための施設である。建築は大型の木造部材による小屋組で軒高9m、最高高さ13mを有する。
劇場客席数は200席。
- 建築データ
主要用途 文楽劇場・展示館
事業主体 清和村
構造設計 浜中津構造設計室
設備設計 郷設計研究所
施工 建築/日動工務店
面積 敷地10,200m²、建築856m²、延床781m²
構造規模 木造 地上2階
主な仕上げ 漆塗り
工事期間 1990年12月～1992年3月

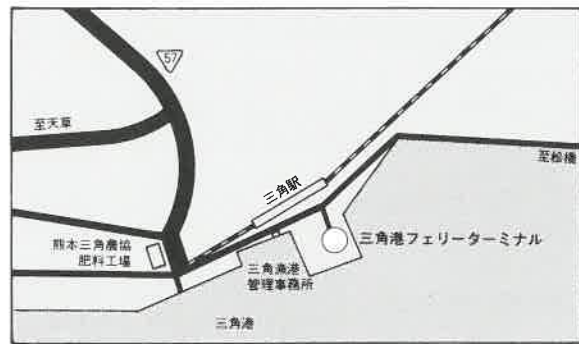


撮影 石丸捷一

三角港 フェリーターミナル

設計者 葉祥栄
所在地 宇土郡三角町大字三角浦地先

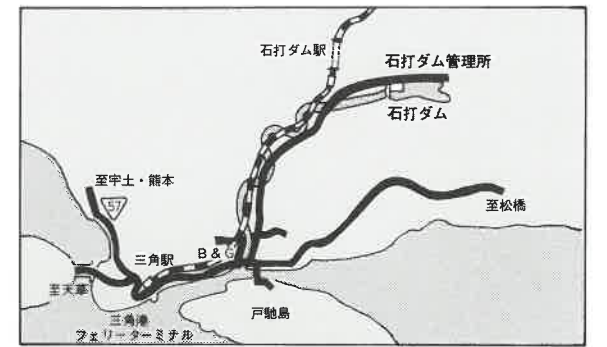
- 交通
JR三角線熊本駅発→三角駅下車
¥640/約50分 (JR熊本駅から)
- 見学の注意
島原方面へのフェリー発着時刻は確認のこと。
問合せ 海のピラミッド 電話0964-53-1255
- 見どころ
建物内外の二重螺旋は世界でも珍しいもの。外部のスロープを登り頂上に立つと天草が見渡せる。レストラン/土産物店/電話/トイレなどの施設を備えている。
またフェリーターミナル見学の後にはぜひ三角西港 (明治時代に建設された石作りの港) に足を伸ばしてみよう。
- 建築データ
主要用途 フェリーターミナル
事業主体 熊本県
構造設計 草葉建築構造計画
設備設計 新日本設備計画九州事務所
施工 建築/岩永組
面積 敷地1,520m²、建築865m²、延床1,052m²
構造規模 鉄筋コンクリート造 地上1階
主な仕上げ ペイント仕上げ
工事期間 1989年3月~1990年2月



石打ダム管理所

設計者 青木茂
所在地 宇土郡三角町中村

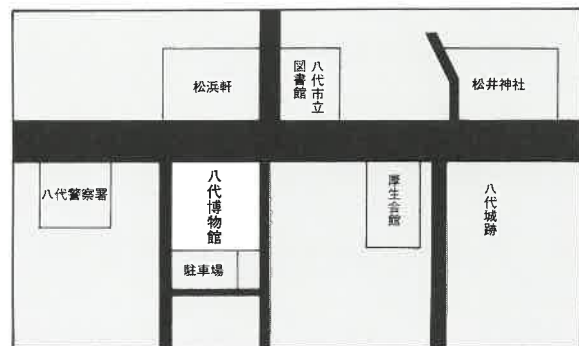
- 交通
JR三角線熊本駅発→石打ダム駅下車→徒歩1.5km
¥560/約45分 (JR熊本駅から)
- 見学の注意
見学は外観のみに限定されています。
問合せ 熊本県石打駅遊園地建設事務所工務課
電話0964-33-4777
- 見どころ
大自然と巨大な人工物である石打ダムを調停するように間におかれた建築。控え壁によって建物は崖に支えられ、周囲を睥睨する。テラスやバルコニーなど建築的なディテールが建築に表情をつくり、ダムを見守っているようである。
- 建築データ
主要用途 管理室
事業主体 熊本県
構造設計 大分構造プランニング
設備設計 産研設備設計事務所熊本事務所
施工 建築/マコト建設
面積 敷地632m²、建築179m²、延床270m²
構造規模 鉄筋コンクリート造 地上2階
主な仕上げ コンクリート打放し
工事期間 1990年7月~1991年2月



八代市立博物館 未来の森ミュージアム

設計者 伊東豊雄
所在地 八代市西松江城町12-35

- 交通
JR鹿児島本線熊本駅発→八代駅下車→産交バス (八代産交行き) 法務局前下車
¥550+¥120/約40分+約15分 (JR熊本駅から)
- 見学の注意
入場料 300円 (常設展)
開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日 (当日が祝日の場合はその翌日)
駐車場は建物裏側
問合せ 八代博物館 電話0965-34-5555
- 見どころ
敷地は八代城址に程近い文化ゾーンにあり、特に正面にある瓦葺根の松浜軒とのコントラストがすばらしい。建物は人工的に作られた芝生の丘の上にあり、散策、日光浴など周囲に開放されている。建築はいくつものポルト屋根が重なり、一番高いところに収蔵庫が風を切るように聳えている。内部の家具デザインは大橋晃朗氏が担当した。なお常設展示されている豊富な松井家コレクションは秀逸。喫茶室あり。
博物館見学後、松浜軒の見学も必須。また同じ設計者による「ギャラリー8」(通町)まで足を伸ばすのもよい。
- 建築データ
主要用途 博物館
事業主体 八代市
構造設計 木村俊彦構造設計事務所
設備 井上市設備研究所+大瀧設備事務所
施工 建築/竹中工務店・和久田建設・米本工務店JV
面積 敷地8,501m²、建築1,432m²、延床3,418m²
構造規模 鉄筋コンクリート+鉄骨造地下1階/地上4階
主な仕上げ ステンレスパンチングパネル張
工事期間 1989年11月~1991年3月



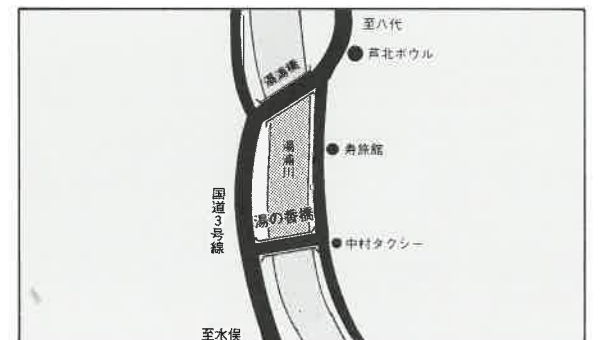
撮影 清島靖彦



湯の香橋

設計者 岸和郎
所在地 葦北郡芦北町湯浦

- 交通
JR鹿児島本線熊本駅発→湯浦駅下車→徒歩800m
¥1090/100分 (JR熊本駅から)
- 見学の注意
見学の際道路の交通量が多いので注意。川の浄化にご協力を。
問合せ 芦北町役場建設課 電話0966-82-2511
- 見どころ
スッキリとした構造と素材が、流れや環境とここちよい対比を見せている。また河面に接するテラスとベンチが設けられ、休憩できる。橋の裏側に付けられた照明が手摺りのポリカーボネイト板を照らし、温泉街の歩道橋に相応しい、障子越しの光のような効果。
昼夜問わず見学は可能だが特に夜景はお薦め。宿泊は湯浦温泉街を利用、浴衣姿でそぞろ歩きするとなおよい。昨年7月には湯の香まつり、手作りイカダレースが開催され、この橋がゴール、メイン・スタンドとして大活躍した。今年も数々のイベントが企画されている。
- 建築データ
主要用途 遊歩橋
事業主体 芦北町
施工 建築/日本ビー・エス・コンクリート
構造規模 プレストレスト・コンクリート造 橋長/40.8m 幅員/3.34m
主な仕上げ 手摺り/鉄骨+ポリカーボネイト樹脂板フロスト加工 床/RC洗出し、両サイドはグレーチング
工事期間 1990年12月~1991年3月



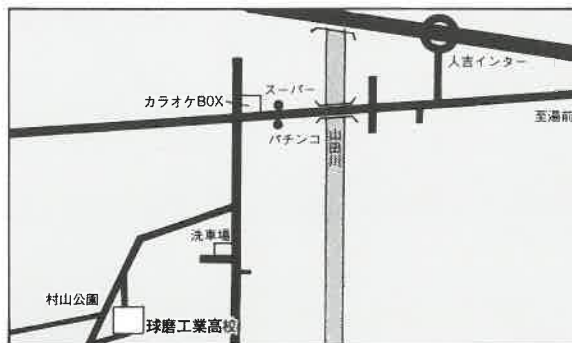
球磨工業高校 伝統建築実習棟

設計者 象設計集団
所在地 人吉市城本町800

- 交通
JR肥後線熊本駅発→人吉駅下車→タクシーまたは徒歩1km
¥2,310/約100分(急行)
- 見学の注意
学校敷地内につき見学は学校の許可を得ること。
問合せ 県立球磨工業高校 電話0966-22-4189
- 見どころ
日本で唯一の伝統建築コースを持つ高校の実習棟である。木造による大架構。内部と外部が連続するように作られたテラスなど。教育の材料ともなる建築物である。
- 建築データ
主要用途 高校実習棟
事業主体 熊本県
構造設計 早稲田大学田中研究室
施工 建築/岩井工務店
面積 敷地70,100m²、建築578m²、延床560m²
構造規模 木造 地上2階
主な仕上げ 木製羽目、下見板張り
工事期間 1990年10月~1991年3月



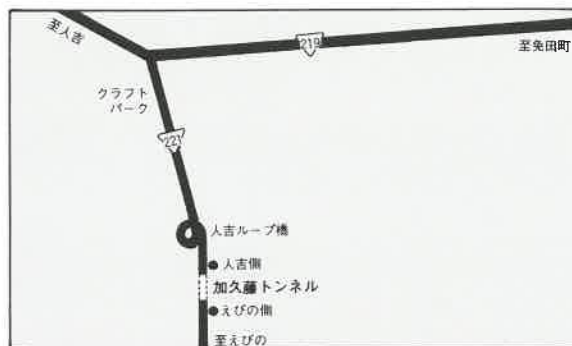
撮影 長野良市



加久藤トンネル換気所

設計者 小山明+パシフィックコンサルタント
所在地 人吉市大畑町
宮崎県えびの市東川北

- 交通
宮崎交通なんぶう号(現場通過のみ)
車での見学をお薦めします。(熊本市から高速道路利用約100分)
- 見学の注意
トンネル入口につき、通過交通には十分ご注意ください。また人吉側には駐車できません。
問合せ 熊本県人吉土木事務所維持課 電話0966-24-4111
- 見どころ
トンネルの両出口に設けられた換気施設。建物全体が空気を取り入れるフィルターに見たてられ、エキスバンドメタルで覆われている機能的な建築。
機能的な建築も周囲の環境にほどよくアクセントを与える例である。
- 建築データ
主要用途 機械室
事業主体 熊本県
施工 建築/丸昭建設
構造規模 鉄筋コンクリート造+鉄骨造 地上2階
主な仕上げ エキスバンドメタル張り
工事期間 1988年12月~1989年10月



松島町合津 終末処理場管理棟

設計者 齋藤宏
所在地 天草郡松島町大字合津

- 交通
産交バス(本渡行)→松島産交下車→徒歩200m
¥1400/約100分
- 見学の注意
見学は受付で許可を得ること。
問合せ 松島町合津終末処理場管理所 電話0969-56-3195
- 見どころ
敷地は合津港の一面にある。建築は管理の機能を明確に分類し、それぞれに対応する建築的ボリュームに分けられている。天草の玄関口に相応しく周囲の島々や船、橋と対応するような形態が散りばめられている。
- 建築データ
主要用途 管理棟
事業主体 松島町
構造設計 吉田建築構造事務所
設備設計 トーア建築設備事務所
施工 建築/三菱建設・吉永産業JV
面積 敷地16,600m²、建築570m²、延床720m²
構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造+一部鉄骨造 地上2階
主な仕上げ アルミパネル+磁気質タイル張り
工事期間 1991年4月~1992年3月



TOTO AQUAPIT ASO

設計者 木島安史
所在地 熊本県阿蘇郡白水村山上広場古坊中駐車場

- 交通
産交バス(阿蘇西駅行/阿蘇登山観光特急)→阿蘇西駅下車
¥1,580(往) ¥1,450(復)/約140分
- 見学の注意
利用者の迷惑にならないよう見学すること。撮影など節度をもって。
問合せ 熊本県観光振興課 電話096-383-1111(内)5204
- 見どころ
阿蘇国立公園内において景観への配慮がなされている。TOTOから熊本県に寄贈された施設である。最新の設備を備えたトイレをぜひご利用を。
- 建築データ
主要用途 公共便所
事業主体 東陶機器
構造設計 村橋久昭
設備 計画・環境建築
施工 建築/橋本建設
面積 建築76m²、延床86m²
構造規模 鉄筋コンクリート造 地上1階
主な仕上げ せり器質タイル貼り
工事期間 1991年7月~1992年3月

*設計者木島安史氏(千葉大学教授/前熊本大学教授)は1992年4月29日、急性心不全により永眠されました。享年54歳でした。謹んで氏のご冥福をお祈りいたします。

